

JACET Kansai Newsletter

No. 55 October 27, 2010

社団法人大学英語教育学会関西支部 (JACET Kansai Chapter)

支部長: 野口 ジュディー (武庫川女子大学) (Chapter President: Judy Noguchi, Mukogawa Women's University)

事務局: 〒606-8351 京都府京都市左京区岡崎徳成町5 学校法人京都外国語大学 京都外国語専門学校 幸重研究室内

(Chapter Office: c/o Mitsuko Yukishige, Department of English and American Language,

Kyoto Career College of Foreign Languages)

E-mail: m_yukish@kufs.ac.jp URL: <http://www.jacet-kansai.org/>

心を揺さぶり、ことばと響きあう、そんな授業がしたい

研究企画委員会委員長 横川 博一

家賃も満足に払えない若きアーティストたち。ピルのオーナーから滞納している家賃を支払うか出て行くか求められ、彼らの感情は激しく燃え、高ぶる。

How we gonna pay? Last year's rent?

Zoom in as they burn the past to the ground

And feel the heat of the future's glow

When they act tough, you call their bluff

We're not gonna pay last year's rent!

(払えないよ、去年の家賃 / 過去を焼き尽くして、熱い未来を感じよう / 人の心は冷たく、変化の風が吹き荒れる世の中 / 払うもんか、去年の家賃)

そんな彼らも、ドラッグ、エイズ、友人の死など、さまざまな問題に直面しながら、人を愛すること、生きることの喜びを見いだしていく。やがて、こんな境地に至る。

There is no future, there is no past

Thank God this moment's not the last

There's only us, there's only this

Forget regret, or life is yours to miss

No other road, no other way

No day but today

(未来なんてない、過去なんてない / 今が続くことを感謝しよう / あるのは自分だけ、この瞬間しかない / 後悔をしていると人生を逃してしまう / 他に道はない、方法もない / あるのは今日という日だけ)

そう、ご存じ、ミュージカル *RENT* の一場面だ (上記引用は、Chris Columbus 監督、映画版 *RENT* (2006) を参考にした)。若者たちの熱情の思いを、ダンスと音楽と語りで、最大限に表現してくれる。それに私たちは共感する。ソローのことばを借りれば、*the whole body is one sense, and imbibes delight through every pore* 全身がひとつの感覚となって、あらゆる毛穴から歓喜を吸収する—という心境だ。

なぜ急に踊り出したり、歌い出すのだろうと、ミュージカルなどに興味を持たずにいたが、いつのころか、心の内なる世界を映しだし、表現しているのだということが少しずつ実感できるようになってき

て、今ではすっかり演劇ファンになってしまった。そんなことと相俟って、いろいろな戯曲や小説も読むようになり、読書の量がぐっと増えた。そして、いくぶん質も高まったように思う。

評論であれ、小説であれ、その背景にあるものは何か。その作品のメッセージは何か。それを自分はどう理解し、何を考えることができたか。読書とは、心がどれほど動き、私たち自身がことばとどう響き合ったか、と言い換えてもよい。音やリズムを感じることはできただろうか、そして、さまざまな人や心の動きを想像することができただろうか。一見静的な行為に思われる読書が、*active process* だと言われる所以だろう。こうした当然とも言える読みのプロセスが経験できるよう、そう、ちょうどミュージカルや映画を見ているときのようなアクティブな読みを、ふだんの英語の授業でも実践できないものか、と思う。教室は、表面的には静かでもよい。しかし、学生諸君の内では、心が揺さぶられ、ことばと響き合う、そんなプロセスが体感されていて欲しいと願う。

来年には、大学英語教育学会は創立 50 周年、関西支部も創立 40 周年という記念すべき年を迎える。こうした節目は大切にしたい。大学英語教育が進むべき方向を見据えつつ、日々の授業をどうするか、学会員の皆様と真剣に考えることができればと思う。今年度の秋季大会のテーマ「今、求められる大学英語教育における授業の方向性」にもそんな思いが込められている。今大会は、研究発表と並んで実践報告が多いことも特徴である。シンポジウムでは、さまざまな授業実践の取組みを講師の先生方にご披露いただき、大学英語教育における英語授業の方向性について考えてみたい。それぞれの実践は、具体的・個別的・専門的なものかもしれないが、だからこそ、大学英語授業に求められる「普遍的なもの」も見えてくるように思う。そして、2011 年 11 月には、「大学英語教育の新たな地平へ—JACET 関西支部 40 周年」をテーマに掲げた記念大会を開催すべく、その準備に取りかかったところである。どうかご期待いただきたい。(神戸大学)

■2010 年度 関西支部秋季大会のお知らせ■

2010年度関西支部秋季研究大会を下記の要領で開催致します。奮ってご参加下さい（発表申込は9月15日に締め切りました。多数のご応募ありがとうございました）。

日程：2010（平成22）年11月27日（土）9:50-17:05
（受付開始：9:30）

会場：関西学院大学・国際学部（上ヶ原キャンパス）
大会テーマ：「今、求められる大学英語教育における授業の方向性」

The JACET Kansai Chapter Fall Conference will be held on November 27th at Kwansei Gakuin University, Uegahara Campus. There will be workshops, research reports, and reports on classroom activities. Refer to details at the JACET Kansai Chapter website (<http://www.jacet-kansai.org>).

■ 第2回支部講演会の報告 ■

2010年度の第2回支部講演会（教材開発研究会企画によるシンポジウム）が2010年10月2日（土）に神戸国際会館8F5号会議室で開催されました。

タイトル：「『自律学習』を目指した教材開発研究」

司会：岡本 由紀子 先生（関西外国語大学非常勤）

発表者：仲川 浩世 先生（京都女子大学非常勤）

仁科 恭徳 先生（立命館大学非常勤）

岡本 由紀子 先生（関西外国語大学非常勤）

講演には27名の参加がありました。多くの皆様のご参加、誠にありがとうございました。

講演では、発表者らが出版したテキストを始め、オーラルプレゼンテーションを扱ったテキストについての概括が行われました。発表者らのテキストは評判が高く、増刷・改訂が重ねられていますが、さらなる改善のためのヒントについて報告されました。また、近々出版予定である語彙学習のための新しいテキストについて紹介がなされました。最後に、大学英語教育のための教材研究の目指す方向性についても論じられ、発表後は、参会者との活発な議論が展開されました。

The 2nd Lecture Meeting of the 2010 academic year organized by JACET Materials Development Group was held on October 2nd, at Kobe International House, with 27 participants. The presenters reviewed textbooks on oral presentations, including one that their group had previously published, in order to find ways to further improve their popular textbook which has been reprinted many times. They also introduced their new vocabulary textbook which will be published soon. Finally, they discussed future directions in materials development for

college English education. An active discussion followed with questions and comments from the audience.

■JACET 関西支部開催講演会のお知らせ■

JACET 関西支部では、今後、下記の通り第3回支部講演会（招聘講師によるコロキウム）を予定しています。皆様のご参加をお待ちしております。

日時：2011年3月12日（土）15:30～17:00

場所：関西学院大学 大阪梅田キャンパス

司会：野口 ジュディー 先生（武庫川女子大学）

講師と演題：

- (1) トム・ガリー先生（東京大学大学院総合文化研究科言語情報科学専攻・教養学部准教授／ALESS プログラム マネージング・ディレクター）

「東京大学教養学部における理系英語プログラムの試み」

- (2) 田地野 彰先生（京都大学高等教育研究開発推進センター大学院人間・環境学研究科 外国語教育論講座教授）

「学術研究に資する英語教育を目指してー京都大学の取り組みー」

参加費：JACET 会員は無料、非会員は500円

使用言語：日本語

要旨などの詳細は、開催が近づきましたら支部 HP に掲載致しますのでご覧下さい。

The JACET Kansai Chapter will hold the 3rd lecture meeting this academic year as follows:

- Two invited speakers: Associate Prof. Tom Gally of the University of Tokyo and Prof. Akira Tajino of Kyoto University
- March 12, 2011
- Kwansei Gakuin University, Osaka Umeda Campus (<http://www.kwansei.ac.jp/Contents?cnid=5743>).

Details available at the JACET Kansai Chapter website (<http://www.jacet-kansai.org>).

Fee: JACET member, free; nonmember, ¥500. No need to pre-register.

Main language for presentations: Japanese.

■ 『JACET関西紀要』投稿募集 ■

紀要編集委員会では、『JACET 関西紀要』第13号への投稿論文を募集いたします。投稿原稿は、大学における英語教育およびその関連分野に資する内容のものとします。今号も支部大会および全国大会での発表済み論文枠が設けられます（紀要刊行1年前までのいずれかの大会での発表が対象）。会員の皆様には奮ってご投稿くださるようお願い申し上げます。

投稿期限：2010年11月15日（月）午後 11:59 まで
論文送付先：紀要編集委員会 事務局長
山西 博之（関西外国語大学）
hiyamani@kansaidai.ac.jp
提出方法：電子メールの添付ファイルのみ（原稿郵送は不要）

※ 受領後 3 日以内に確認の返信が届きます。
万一 3 日たっても返信が届かない場合は、山西まで再度ご連絡ください。

発行までの日程（予定）：

2010 年 11 月 15 日 投稿原稿締切
（※添付ファイル送信のみ）
2010 年 12 月 20 日 審査結果通知
2011 年 2 月 10 日（必着） 最終原稿締切
（※添付ファイル送信のみ）
2011 年 3 月末 刊行

なお、投稿の際には www.jacet-kansai.org にある『JACET関西紀要』の投稿規定・書式テンプレートを
ご覧の上、書式に従ってください。

JACET Kansai Journal Call for Papers

Kansai Chapter members are welcome to submit manuscripts for consideration for publication in Issue No. 13. Papers should be related to research on college English language education or related areas. The *JACET Kansai Journal* especially welcomes papers that have been presented at JACET chapter or national conferences within the past year.

Submit manuscripts to:

Hiroyuki YAMANISHI, Ph.D.
JACET Kansai Journal Secretariat
Kansai Gaidai University
hiyamani@kansaidai.ac.jp
(only e-mail submissions will be accepted)

If you do not receive a message confirming the receipt of your manuscript within 3 days, please request confirmation.

Only e-mail submission will be accepted. Postal submission of paper-based manuscripts will NOT be accepted.

Prepare your manuscript according to the *Journal* instructions using Microsoft Word. Send it as an attached file with an email message to Dr. Hiroyuki Yamanishi, Secretariat, *JACET Kansai Journal*.

Publication schedule for No. 13:

Deadline for submission: Nov. 15, 2010 (via email as an attached file)

Notification of publication decision: Dec. 20, 2010

Deadline for submission of the final version: Feb. 10, 2011 (via email as an attached file)

Publication: March 31, 2011

Refer to the guidelines and template at the JACET Kansai Chapter website (www.jacet-kansai.org).

■ 事務局便り ■

支部会員向けの各種案内の配送やメーリング・リストによる情報の配信に使用いたしますので、会員情報（住所、メールアドレス、所属、電話番号など）が変わられた方は、必ずご連絡ください。なお、関西支部では名簿の作成・管理は行っておりません。ご異動等のご連絡は、本部事務局（jacet@zb3.so-net.ne.jp）までお願い致します。

Please immediately report any changes in your address, affiliation, e-mail address, telephone numbers and other information to JACET headquarters (jacet@zb3.so-net.ne.jp).

■ 訃報 ■

同志社女子大学名誉教授、小田幸信先生が去る 7 月に、金蘭短期大学、日比野日出男先生が去る 8 月に、ご逝去されました。小田幸信先生は、JACET 関西支部長（1992 年 7 月 1 日～1994 年 3 月 31 日）、理事（1992 年 4 月 1 日～1994 年 3 月 31 日）、評議員（1973 年 4 月 1 日～1992 年 3 月 31 日、1994 年 4 月 1 日～1996 年 3 月 31 日）、顧問（1997 年 4 月 1 日～2002 年 3 月 31 日）を歴任されました。日比野日出男先生は、JACET 関西支部評議員として 1985 年 4 月 1 日から 2000 年 3 月 31 日までお務め頂きました。故人の学会へのご貢献と、英語教育界への多大なる寄与を偲びつつ、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

■ お問い合わせ ■

本部では、支部紀要を国立情報研究所電子図書館へ記載する手続きをとっています。これは CiNii 経由で公開される予定です。関西支部紀要についても同様に電子図書館へ記載されますが、欠番がございます。もし、会員の皆様のお手元に、下記の号をお持ちの場合は、関西支部事務局 (m_yukish@kufs.ac.jp) までご連絡頂けますよう、よろしくお願い致します。

『関西支部紀要』 2号 (1993年もしくは1994年刊行)
3号 (1995年もしくは1996年刊行)
9号 (2007年刊行)

■ Search for missing issues ■

The JACET Kansai Journal will become available online via CiNii. We are searching for issues No. 2 (1993 or 1994), No. 3 (1995 or 1996) and No. 9 (2007). If you have any of these issues, please contact the JACET Kansai Chapter office (m_yukish@kufs.ac.jp).